

雨ニモマケズ

3月24日

「第39回福岡中学校卒業証書授与式」

校長 原 直樹

3月9日、卒業式を滞りなく終えることができました。今年卒業した生徒たちは、田瀬小と下野小が合併する前、すなわち四つの小学校から集まった最後の子どもたちでした。私は、卒業式で、どうしてもそのことを述べたくて、式辞の後半で次のように語りました。

さて、皆さんの義務教育9年間は、この福岡中だけでなく、6年間の小学校時代の上に成り立っています。皆さんの学年は、高山、福岡、下野、田瀬、この四小学校から福岡中学校に集まった、最後の卒業生です。

今日は、福岡中学校の卒業式。しかし、四小学校の最後の卒業生として、皆さんには、義務教育9年間をしみじみと思い出しつつ、ここから巣立って行ってほしいと思います。

そんな思いを込めて、小学校の校歌の一番を、読み上げます。

高山小学校

緑に映える 二ツ森 明日に仰ぐ 恵那の山 素直なお心 はずませて
元気に遊ぶ 子どもたち ああ美しい 高山小学校

福岡小学校

空明るし 城が根に 夢結ぶ 草木のつゆの 輝く日
みんな歌うよ ああ福岡 福岡 福岡の母校 栄えあれ

下野小学校

澄み渡る豊かな川がある 鳥歌う花の野がある 大きく笑う空がある
赤い大地に根を張り伸ばし 美しく立つみどり松 ここにある下野 下野小学校

そして、田瀬小学校

風かおる 田瀬はふるさと 三界の 山をあおいで
強く生き 明るく学べ 山は呼ぶ われらの田瀬校

そして、この3年間を過ごした、福岡中学校の校歌の歌詞も、心に刻んで旅立ってください。曙学園の四つの季節を描いた、この素敵なお校歌。先ほども清聴しましたが、最後に、その校歌、一番だけですが、読み上げ、本日のはなむけの言葉とします。

春 曙の 高陵に 希望の光 輝きて 緑あやなす若草の
伸びゆく力 たくましく 共に歌わん 高らかに

曙大地に建つ、この福岡中学校で培った力をもとに、よりよいひとり立ちをしていく皆さんの、素晴らしい未来があることを心から祈念し、以上、式辞といたします。

令和5年3月9日 中津川市立福岡中学校 校長 原直樹

卒業証書授与の際、マスクを取った凜々しい顔の1人1人を目の前にし、彼らが義務教育9年間をかけて成長してきた重みを感じました。そして、小学校の四校歌と福中の校歌の歌詞がじんわりと心に響いてきました。保護者の皆様、地域の皆様、育て、見守り、福岡の子どもたちをここまで成長させてくださったことに心より感謝いたします。



校舎に感謝とお別れの礼をする卒業生